

いとららいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとららいふ
発行日：2022年3月

雪解けも進み、少しずつ春の訪れを感じます🌸新しい年度が始まりますが、どんな1年になるのでしょうか？あっという間に過ぎる月日ですが、私は元気に自分らしく頑張りたいと思います♪

3月号…いよいよ今年度最後のりとららいふ通信発行を迎えました🥰令和3年度もご愛読頂き、誠にありがとうございました。通信編集委員一同、感謝の気持ちでいっぱいです♪最終号、令和3年度に入職した新卒職員3名にインタビューを決定しました。その他も盛りだくさんの内容となっておりますのでぜひご覧ください🌻



新卒職員インタビュー

令和3年度に入職した新卒職員
3名にインタビューを決定しました！

荻部流々風 職員

1年目を振り返って

私は「楽しい」と思う瞬間が多い1年だったと感じます。支援を行う中で疑問や悩みもありましたが、先輩職員の皆さんに支えられ、利用者さんの笑顔が見られた時や心が通じ合った時にとってもやりがいを感じました。

2年目の抱負

2年目の抱負は「初心を忘れず、責任をもって行動する」ということです。1年目で学んだことや感じたこと等を大切にしながら、これからも利用者さんと一緒に楽しんだり、喜んだりできたらいいなと思います🌻



小浦方陽和 職員

1年を振り返って

日々発見があり「どうしてだろう？」と考えると奥が深く、考える事が好きな私にとって学びが多く、楽しい一年でした。このように思う事が出来たのも、利用者の方を始め先輩方のおかげです。ありがとうございます。

2年目の抱負

1年目は「ボールペン」のように単色で教えて頂いた事を実行するのに精一杯になっていました。そのため、2年目は「5色ボールペン」のようにその場に適した行動かつ自分色を出せる職員になりたいです。



今村結佳 職員

1年目を振り返って

この1年を振り返ると、利用者様や先輩職員の皆さんにたくさん助けて頂いた1年だったなあ…と感じています。特に、子ども達の明るい笑顔に励まされ、ここまで元気にお仕事を頑張ることが出来ました🌻

2年目の抱負

2年目の抱負は「気持ちに余裕を持つ！」です。どうしても緊張から焦ったり、早口になったりしてしまう事が多い1年目だったので、来年度は落ち着いた心でお仕事に取り組めるように頑張りたいと思います！



ワクワクする事・物

今回の依頼を受け「この歳でワクワクする事なんてないよ」と歳のせいにして焦っていたところ、あれ？今じゃなくてもいいの？と思い、昔ではありますがワクワクした思い出をお話します。軽い気持ちで5年前に多肉植物を集め始めて1年経った頃、見慣れている植物達の変化に気が付き驚きました。なんだこれ？と思ったこれは「つぼみ」で2日後には大きな黄色い花が咲き「どうだ！」と言わんばかりに力強く咲いている様をみて申し訳なくなりました。だって世話などしていなかったから反省しています。

そんなたくましい植物達を見ていたらまた、発見したんです！ハート型のサボテンを…黄色い花にハート♡「これはきっといい事がある」と一人ニヤニヤしていた事も覚えています。子育て仕事家事に追われる私にプレゼントをもらった様な気になりワクワクが止まりませんでした。早速、主人や息子に写真を送信し主人からの返信が「お前、暇だな」👉今なら炎上ですよ。息子は待ち受け画面にしていました♡ワクワクをくれた植物達は今でも花を咲かせてくれています。

とも 大島恵美子



次回テーマ「感動した、又は好きな映画」

今年挑戦してみたい事

「挑戦したい！」という程のことではないかもしれませんが、料理のレパートリーを増やしたいです。お恥ずかしい話、掃除や洗濯などは好きなのですが、どうしても料理が得意でなく、味付けも献立も気づけばワンパターンになりがちです。「あれ、これ先週も作ったような？」と毎週のように感じています。夫に夕飯のリクエストを聞いても、いつしかカレーと答えることが多くなってきました。(多いというより、ほとんどですが)どんなに忙しくても手を抜かずに、いろいろな手料理を作っていた母には感謝しかありません。私も母のようにとまではいきませんが、自分らしく無理しない程度に、料理の幅を広げていきたいです。まずは好きになることから始めます。

きら 笹川萌



次回テーマ「最近美味しかったスイーツ」

職員情報

退職職員【2/20付】

生活介護事業所きら 支援員 山本恭平
放課後等デイサービスもーと 支援員 小林秋則
放課後等デイサービスもーと 支援員 三浦江理花
～今までありがとうございました～

入職職員【3/1付】

運転員 神田克己
～よろしくお願いいたします～



とも

2022 年は寅年！ということで…ともでは干支をモチーフにした置物を作りました。丸めた羊毛フェルトに顔のパーツを貼り、後ろに屏風を立てると、丸くて可愛らしいトラの親子が出来上がりました！皆さんの完成品を並べてみるとそれぞれ違った表情があり、見ているだけで癒されました😊



ららん

色紙を画用紙一面に貼るお友だち。ブロック遊びが好きなお友だち同士が集まって「なに作る？」「駅！コンビニ！」と相談しているお友だち。塗り絵を写真と見比べながら色鉛筆を選んで塗るお友だち。集中する！夢になる！その楽しく過ごしている姿を見守りながら、一年間の成長を感じ(*´艸`)笑顔の職員です。



にこ

2月は「カラフルボトル」を作りました。ビンに絵具をぬり、ラメやキラキラの飾りをつけて完成です♪絵具を指や筆でぬる作業では真剣な表情の子どもたち。「楽しそうだね」「きれいだね」と嬉しい声も聞こえてきました😊



きら

きらでの活動を紹介します。製作活動を行う利用者様は、今月は2月のカレンダーとスノードームを作成しました。カレンダーの絵柄はお好きな物を選んで頂き色塗りを楽しんでいます。スノードームは作るのが大変でしたが出来上がりました。スノードーム、カレンダーとも自宅に持ち帰って頂いています。😊



各部門 活動報告



にこ

2月は「カラフルボトル」を作りました。ビンに絵具をぬり、ラメやキラキラの飾りをつけて完成です♪絵具を指や筆でぬる作業では真剣な表情の子どもたち。「楽しそうだね」「きれいだね」と嬉しい声も聞こえてきました😊



もーと

もーとには「笑い鬼・泣き鬼・怒り鬼」が登場しました！怖くてなかなか近寄れない利用者様もいれば、果敢に立ち向かう利用者様もいらっしゃいました！鬼の口めがけてボールを投げて鬼退治をした後は、美味しいお菓子をお持ち帰りしました😊



生きることと死ぬこと。村上春樹と宮崎駿



障害福祉事業部とりとらいふ 部長 片桐公彦

自分に年が近い身近な人が亡くなるという出来事を体験すると、40代も後半に差し掛かった自分にはそのできごとが、若い時代と比べて格別に堪える。

2月も暮れに迫ったある日、その訃報を知った。信じられなかった。亡くなったことも、その亡くなり方も。何もかも。年末に顔を合わせる事ができた。単身赴任から戻ってきてすぐにでも会いたかったけれど、仕事が忙しかったり、コロナでなかなか足を伸ばす事ができなかつたりで、再会までに時間がかかった。久々にお目にかかった時の表情は、4年の歳月の分、少し歳をとっていた。でも、それ以上に、少しやつれているというか、いつもと変わらない笑顔のように見えて、どこか疲れているようにも見えた。

僕は村上春樹の熱心な読者で、はじめて読んだ彼の小説は「ノルウェイの森」で14歳のときだった。あれを14歳で読むといのはなかなかエキサイティングなことなのだけれど（読んだ方は何を言いたいのかわかると思う）、その作品の中で扱っていたのは、まさに「身近な人の死・喪失」だった。作品の中で主人公は、身近な親友を失う喪失感の中で「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している」ということに気づく。

この4月に47歳になる自分が、自分の身近な人の死を知った時に、僕には「死」というものが「生きること」の一部であるという実感がありありと手にとるように重みをもって感じた。自分が生きていながら、既に「死」の一部になりつつあるという感触があり、これが村上春樹の描いた精神世界だったのだとはっきりと分かった。

国民的なアニメーションを生み出してきた宮崎駿監督の作品も僕は大好きで新作は必ず見ている。歴代宮崎映画のキャッチコピーは「もののけ姫」では「生きる」、「崖の上のポニョ」は「生まれてきてよかった」、最後の作品と言われている（と云いつつ今もアニメを作っているらしい）「風立ちぬ」は「生きねば」だった。

村上春樹と宮崎駿の作品のテーマは、いつも対極は位置にあるように僕は感じていて、その両者の作品に触れることで、死ぬことや生きることについて行ったり来たりして考えている。

まもなく季節は4月になる。高田公園に息を飲むような美しさで咲き乱れる桜は、ある時を境に一気に散る。その散り方も目眩がするほどの美しさだ。それは、駆け抜けるように生き、そして亡くなった2月の別れと重なる。その眩さに心を奪われながらも、それでも僕は这个世界で生き続けていこうと、3月の雪解けが進む高田の町並みを眺めながら思った。



ふぁみりあ近況報告



ふぁみりあの2月のイベントは利用者様と一緒に、心の中の悪い邪気払いをして、気持ちの良い福の神を入れ、一段と温かいふぁみりあになりました。恵方巻の代わりにソフトなロール巻きカステラを召し上がり、皆さん全員大喜びで過ごされました。

